

# 降誕節第十主日礼拝

## 《主日朝礼拝式次第》

### 【入祭の部】

前 奏 (黙祷)  
「深い愛により」(讃美歌 21 の 283 番)  
J.ダNSTABLER作曲

あいさつ  
讃 美 讃美歌 21/430 番  
開会の祈り  
交読詩篇 詩編 108 篇 11~14 節

### 【み言葉の礼拝】

聖 書  
+箴言 19: 11~17  
+マタイ 25 章 31~46 節  
(旧約 P.1015、新約 P.50)  
応 答 唱 讃美歌 21/32 番  
教 話 井上隆晶牧師  
『最後の審判』

入 会 式  
使 徒 信 条

### 【聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/81 番  
教会の祈り (連祷)  
謝罪の祈禱 (和解の挨拶)  
讃 栄 讃美歌 21/83 番  
主のいのり  
陪 餐

### 【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/487 番  
感謝の献物  
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番  
派遣の言葉 井上隆晶牧師  
祝福の祈り  
後 奏 (黙祷)  
「われらみ名により」(讃美歌 21 の 524 番)  
北澤 颯作曲

灰 の 式

## 【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 屋宮英男  
奏 楽 鹿野幸枝  
献金当番 黒澤 巖  
受付当番 勝見 仁

## 【本日の予定】

◇教会学校 (朝 9時30分)  
・お話し: 澤田真弓  
◇讃美歌練習 (礼拝後)  
◇合同祈禱会 (礼拝後)  
◇定例役員会 (午後 1時)

## 【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り  
・祈禱予定表の通り  
◇英会話グループ  
・3月6日(木) 午後7時30分

## 【次週主日3月9日のご案内】

◇教会学校礼拝 (午前9時30分)  
・お話し: 小坪英恵  
◇主日朝礼拝 (午前10時30分)  
・聖 書  
+ I コリント 15: 12~17  
+ ヨハネ 11: 17~27、38~44  
(新約 P.320、P.189)

・教 話 井上隆晶牧師  
『わたしは復活であり、命である』  
・讃美歌 21 297、32、528  
・交読詩篇 詩編 109: 21~28  
・司式補佐 澤田昌人  
・奏 楽 飯田雅子  
・献金当番 ウィル・P  
・受付当番 寺田律子  
◇讃美歌練習 (礼拝後)  
◇合同祈禱会 (礼拝後)  
◇教会学校教師会 (礼拝後)

## 聖 句

「はつきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」

(マタイ 25 章 40 節)

## 【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》: 5日(水) 午後2時「YWCA 聖書を学ぶ会」
- ②3月3日(月)より受難節(レント)に入ります。この期間、聖書朗読と祈りに専念しましょう。また克己献金袋をお配りしました。ご協力をお願いします。
- ③本日の礼拝の中で木許宜明さんの入会式をいたします。これからの兄弟の歩みを主が支え助けて下さるように祈りましょう。
- ④《3月の行事のお知らせ》  
■3月2日(日)「謝罪の祈禱・灰の式」、午後1時「定例役員会」  
■3月3日(月)~4月19日(土)「レント・大齋」  
■3月5日(水) 午後2時「YWCA 聖書を学ぶ会」会費 500円  
■3月9日(日) 礼拝後「教会学校教師会」  
■3月16日(日)「中部地区交換講壇」(東梅田教会)  
■3月18日(火) 午前10時「心の病の勉強会」
- ⑤【祈禱課題】  
●新しい礼拝堂を建築するため。  
●ウクライナの平和のため。
- ⑥【先週の集会統計】

日	集会	男	女	大人	計	礼拝献金
23	CS礼拝	-	1	7	8	¥2,450
	集会	男	女	子ども	計	礼拝献金
23	朝の礼拝	10	19	5	34	¥30,250
25	朝の祈り	2	4	-	6	
28	朝の祈り	2	2	-	4	

- ⑦【2/23の献金報告】[月定] 小坪英恵、澤田昌人(計20,500円) [法人取得・退院・誕生日感謝] 勝見仁、西原節子(計12,000円) [互助] 屋宮英男、小淵賀裕、澤田昌人、山千代誠子(計5,000円) [建築] 澤田昌人(計5,000円)

## 【先週の説教要旨の続き】

「ようとはしません」といいました。神から遠ざかった人は、やがて神の声を聞けなくなり、自分からも聞かなくなります。どんどん曇ってゆくのです。アダムは神の言葉を聞くことに失敗したのです。だからこそ私たちは神の言葉を聞くことを回復しなければなりません。

沢崎堅造先生がこんな一文を残しています。「荒野とはいかなる処か。…荒野とは原来『語る』という動詞から来ている。声のある所という意味になろう。それはいかなることか。荒野とは人無き、声無き所であると誰もが考えるであろうに。…私が朝早く独り荒野に出るのは、全く人里を離れた静かな所が欲しいからである。静かに祈り、ひとり聖書に親しみたいからである。…それは神語るところ、神の声のあるところという意味である。…荒野は人無き所である。しかし神がいる所である。荒野は神語る所である。」神の声を聞くためには、人の声から離れなければなりません。私たちの日常は、人の声で溢れています。そこからは神の声は聞こえてきません。現代人は静まる事を知りません。シナイ山の麓にもっとも古い修道院である聖カタリナ修道院があります。修道院というのは人里離れた荒野の中や崖の上に建てられました。それは「町中には滅びがあります。」(詩編 55: 12)と詩編に書かれているので、荒野に出かけていったのだということを知ったことがあります。エリヤもモーセも荒野で神と出会いました。イエス様でさえも、朝早く起き、人里を離れた所で祈っておられます。祈りというもの自分を神に熱心に語ることだと思っている人がいますが違います。祈りとは静まって神の声を聞くことです。少年サムエルを思い出してください。「どうぞお話しください。僕は聞いております。」(サムエル上 3: 10)と言いました。神の声が聞こえて来るまで、私たちが一人になって荒野に退きましよう。「どうぞお話しください。僕は聞いております。」と祈りましよう。神の言葉をしっかりと聞いて、それに従って生きるという基本に帰りたと思います。